

県民の森だより 5月号

2014年5月号 宮城県陸奥市神谷沢字菅野沢41 県民の森管理事務所 TEL:022-255-8801

岩切城跡や県民の森のサクラは、花付のわるかった昨年と異なり花付が良く、多くの来園者の目を楽しませました。モスグリーンの新芽吹きが特徴のコナラを始めそれぞれの樹種による個性的な新緑が目に見える季節となりました。

5月のイベント情報

日	時	イベント名	集合場所	申込要件	参加料
5/7 (水) 21 (水)	10:00~12:00	※ノルディックウォーク & ミニ植物観察	県民の森	初心者第1水曜日 第3水曜日	レンタルボール350円 マイボール持参250円
5/10 (土)	10:00~12:00	※万葉植物観察会	県民の森	特になし	300円
5/11 (日) 25 (日)	10:00~13:30 10:00~12:30	もりもり教室	青少年の森	事前申込親子	11日:250円 25日:200円
5/15 (木)	9:30~14:00	剪定講習会	青少年の森	事前申込	300円
5/17 (土)	9:00~12:00	※季節を楽しむハイキング	県民の森	特になし	250円
5/25 (日)	10:00~12:00	※岩切城址探訪会	青少年の森	特になし	350円
5/29 (木) (満員御礼)	9:00~14:00	低山探訪会	秋保ビジターC	事前申込	300円
5/31 (土)	9:30~13:00	※森の癒し体験	県民の森	特になし	500円

申込・問い合わせ：宮城県森林インストラクター協会 TEL：022-255-8223 ※は県民の森管理事務所：TEL：022-255-8801

芝生広場に案内掲示板を設置しました



中央記念館の木質化等改修工事で来園者の皆様に不便をお掛けしています。管理事務所では、芝生広場に県民の森の行事などをお伝えする案内板を設置しました。県民の森だより・ノルディックウォーク・万葉植物観察会など各種のイベント案内や季節の花などの情報を掲示しています。また、それらのチラシなどもレターケースに収めています。活用願えれば幸いです。

季節の移ろい：ニレ科5兄弟

日時計山の芝生広場周辺に、ニレ科のケヤキ・エノキ・ハルニレ・アキニレ・ムクノキの5兄弟が揃いました。ニレ科は葉で容易に区別することができ、種子の散布様式もバラエティに富んでいます。樹名板を取り付けましたので、それぞれの四季の変化を比較観察してみたいはいかがでしょうか。(写真：左からケヤキ・エノキ・ハルニレ・アキニレ・ムクノキの葉)



ケヤキ：樹形は逆さ箒(ホウキ)で街路樹でなじみの宮城県の県木。実は短枝の葉の基部に粒状に付き、短枝ごと風に乗って散布されます。素晴らしい木の意の“けやけき木”からケヤキとなりました。

エノキ：こんもりとした緑陰を作ることから江戸時代には街道の一里塚に植えられました。実は秋にオレンジ色に熟して甘く、鳥が食べて種を運びます。国蝶オオムラサキの幼虫の食樹です。

ハルニレ：ニレを表す朝鮮語ヌルムがなまってニレとなり、花は春早くに咲き初夏に団扇状の実が風に舞うことからハルニレになりました。冷涼で水が豊富な気候に適し、北海道では街路樹として親しまれています。

アキニレ：ハルニレに対して秋に花が咲き晩秋に実が熟します。ハルニレと同様にその実も団扇状で風に乗って遠くへ運ばれます。関東以西の暖地に適し、公園や街路樹にも植栽されています。葉はハルニレより一回り小形です。

ムクノキ：葉は表面にガラス質の剛毛が生えてざらつき、昔は乾燥させてサンドペーパー代わりに用いられていました。実は秋に黒紫色に熟して甘く、ムクドリが好んで食べて種子を運びます。

今月の万葉植物

ヤマブキ(バラ科)・山振/山吹/夜麻夫伎・やまぶき

花咲きて 実は成らずとも 長き日に 思ほゆるかも やまぶき 山吹の花 (作者未詳)



歌

意：「花が咲いても実はないのに、長い間、花が咲くまで心待たれることです。山吹の花は。」太田道灌の逸話から実を付けない花と誤解され易いヤマブキですが、実を付けないのは栽培品種の八重咲きのヤエヤマブキ。一重のヤマブキはちゃんと実を付けます。ヤエヤマブキが万葉時代にも存在していたことが歌からも分かります。

花一口メロ：山に生えて花の黄色がツツブキに似ているからヤマブキ、風に吹かれて枝が大きく揺れる姿を山が振れると見たのか山振(やまぶき)とも書かれました。ヤエヤマブキが実を付けられないのは、雄しべが花弁化して八重になり、雌しべが著しく退化したからです。